

輝く菊西っ子

NO.12
R 5. 2. 3
菊陽町立
菊陽西小学校
文責：吉永公紀

2050年に必要な力の第一位だと考えられているものは、「問題発見力」第二位は、「的確な予測」の力だそう。今求められている「注意深さ、ミスがないこと」「責任感、まじめさ」などの人間力や「読み・書き・算」の基本的な力を基盤にして、世の中が急激に変化していく未来でも子どもたちが活躍できるように小では取組を進めています。その一つが、子どもたちの「はてな」と「つながり」を大切に授めつくりたい。子どもたちの学びが深化するよう学校と家庭と地域が連携して取り組んでいきます。

毎日の給食に感謝

1月24日から30日の1週間は、全国学校給食週間でした。菊陽西小でも、この機会に食を通して健康で心豊かな生活を送るために大切なことを学ぶ「食育」の様々な取組を進めました。



毎日の給食が子どもたちの口に届くまでに、給食の先生方がどのような心配りをしながらお仕事をされているのか、改めてみんなで学びを深めました。



「給本や小説に登場するおいしいメニュー」
いつもおいしい給食を作って下さってありがとうございます。いつも3回やさいをあらったり、重さをはかってくれたり、食べ終わった後はおそくまでしょっきをあらってくれたりして本当にありがとうございます。とくに私は小さなおかずが大好きです。これからもおうえんしています。～2年生の児童から～

いつも、僕たちのためにバイ菌を給食に入れないように気をつけて下さってありがとうございます。僕は給食を食べて毎日元気と力をもらっています。おいしい給食のおかげで5、6時間目も頑張れます。～5年生の児童から～

子どもたちが食に対する興味をさらに持つよう、給食週間では「給食アンサンブル」「赤毛のアン」「おでんおんせんに行く」「ぐりとぐらとすみれちゃん」の絵本や小説に出てくるおいしいメニューを紹介していただきました。

その他にも、郷土の食材を使った「ふるさとくまさんデー」の取組や行事食、様々な国の代表的な料理など、毎日メニューを工夫しながら提供していただいています。

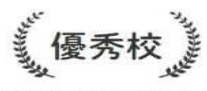
ヴォルターズからバスケットボールを寄贈

熊本ヴォルターズよりバスケットボール3個を町内の小学校6校に寄贈していただきました。



「バスケットボールの魅力を知り、運動に親しんでほしい」「チーム一丸となって目標達成に向けて努力を積み重ねる姿に学んでほしい」「熊本地震など災害時等に進んで人の役に立とうとする姿などふるさとを大切にすることを育ててほしい」という思いを受け取りました。子どもたちがこのバスケットボールを通してヴォルターズを知り、知徳体を育むきっかけになるように大切に使用させていただきます。

ソニー子ども科学教育プログラム 優秀賞受賞



ソニー子ども科学教育プログラム 優秀校 (9校)
教育助成金50万円とソニー製品

● 菊陽町立菊陽西小学校 / 熊本県
論文 (7.36 MB)



「科学が好きな子どもを育てる」ための教育実践と計画をレポートする論文に西小では3年間応募してきました。今回「日常にある『はてな』を見出し、仲間と共に未来のために学び合う子ども」をテーマに取り組み、優秀校に選ばれました。品川のソニー本社での表彰式で、スクリーンに西小が映し出された時、子どもたちや先生方ががんばり、支えていただいているPTAや地域の方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからも科学する心を子どもたちに育てていきます。